

# TAN SRI NOR SHAMSIAH MOHD YUNUS

LONDON  
SPEAKER  
BUREAU

- 9<sup>th</sup> Governor of the Central Bank of Malaysia
- Former Assistant Director at the International Monetary Fund (IMF), Washington DC



## Topics

- Asia
- Economics
- Finance
- Government
- Women

タン・スリ・ノール・シャムシア・モハド・ユヌスは、マレーシア中央銀行の第9代総裁でした。彼女は中央銀行の金融政策委員会、金融安定委員会、金融安定執行委員会の委員長を務めました。

総裁に任命される前は、ワシントン DC の国際通貨基金の金融資本市場部門の次長を務めていました。タン・スリ・ノール・シャムシア氏は、1987 年以來 34 年以上マレーシア中央銀行に勤務し、さまざまな分野で奉仕してきました。

彼女は新型コロナウイルス感染症のパンデミックを通じて銀行を率い、ブランケットやその後の個人や中小企業による融資の対象を絞った一時停止など、生命と生計を守るための緊急措置を導入した。そして翌日物政策金利<sup>②</sup>OPR<sup>②</sup>の引き下げを通じて経済を刺激します。同氏はまた、政府が複数回交代したにもかかわらず、同行の任務遂行能力と独立性が影響を受けないよう確保した。

在任中、彼女は需要圧力とインフレを管理するための営業利益率の複数回の引き上げを通じて、特に2022年のロシア・ウクライナ戦争や世界的なサプライチェーンの混乱によって引き起こされたインフレ急騰を乗り越え、中央銀行と経済を乗り切った。アジア金融危機中に問題のある金融機関を解決し、その後の銀行改革を実施して回復力を強化する上で重要な役割を果たした。

彼女は、気候リスクの管理、グリーンファイナンスと金融包摂の推進に関連する革新的な政策とイニシアチブの実施において重要な役割を果たし、さらに、3つの金融セクターの青写真（2000年から2010年、2011年から2020年、2022年から2026年）を策定し、実施しました。持続可能な発展の道を歩む、よりダイナミックで包括的な金融セクター。

彼女はデジタルバンキングとイスラム銀行の枠組みの開発に貢献し、これにより従来のイスラム銀行法に基づく5つのデジタルバンキングライセンスの授与につながりました。また、2023年にはデジタル保険とタカフルフレームワークを導入しました。これに伴い、銀行のデジタル化とサイバー回復力も強化されました。

彼女はまた、次のような最新の人材管理イニシアチブの導入と実施の先頭に立って、当銀行の人的資本管理の強化において重要な役割を果たしてきました。

- 差別化された報酬を備えた新しいジョブファミリー構造
- リーダーシップおよびミッションクリティカルなポジションのリーダープールの改善に向けた包括的な開発アプローチ
- 銀行の人材プールの将来を保証するための文化変革イニシアチブ。当行に対する国民の信頼を維持するために、説明責任の文化を強化し、オープンで敬意を持った環境を醸成しました。

在職中、彼女はマレーシア預金保険公社の職権理事、東南アジア中央銀行

SEACEN 研究訓練センターの理事長、およびマレーシア預金保険公社の非常勤メンバーとして中央銀行を代表しました。マレーシア監査監視委員会。2017年4月から2018年6月までは、国際通貨基金の金融資本市場局の次長も務めました。

彼女は現在 AIA Group Limited の独立非常勤取締役および指名委員会のメンバーを務めており、マレーシアの INCEIF (イスラム金融国際教育センター) 大学の学長も務めています。

Tan Sri Nor Shamsiah は、1986年に南オーストラリア大学で会計学の学士号を取得して卒業しました。彼女はオーストラリア公認会計士のフェローであり、マレーシア会計士協会の会員でもあります。